

全県的な地場産物活用の推進～学校給食における地場産物活用の取組～について

現状

- 食の安全性に関する正しい知識の浸透不足
- 学校給食における地場産物活用割合が震災前と比べて大きく低下
- 子どもの体力低下、肥満の傾向が顕著
- 風評により県産農林水産物の価格が低迷

学校給食における地場産物活用割合		
H22年度	H24年度	H25年度
36.1%	18.3%	19.1%

学校給食に県産米を使用している市町村		
H22年度	H24年度	H25年度
100%	89.7%	91.4%

農産物直売所の販売額		
H22年度	H23年度	H24年度
160億円	141億円	167億円

取組の方向性

食の安全性に関する情報の共有
消費者の幅広い理解を促す

全県的な地場産物活用
県民総ぐるみで県産農林水産物の消費拡大や食育を強く推進
(家庭、地域、事業者等)

子どもたちの体力向上と健やかな成長

学校給食における地場産物活用
ふくしまの食と農の理解促進や地域食文化の継承

地産地消
食育

具体的な取組

ふくしまからはじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動
県産農林水産物の消費拡大と食育の推進 (農林水産部)

ふくしまのおいしい「食」で元気になる食育プロジェクト
福島で育まれた美味しい食材で健康な体をつくる (保健福祉部)

食の安全・安心の推進
食と放射能に関する正しい情報提供のためのリスクコミュニケーションの強化 (生活環境部)

学校・家庭・地域が一体となって取組を促進

学校給食地場産物活用事業
給食に地場産物を取り入れる市町村等の取組を支援 (教育庁・農林水産部)

地産地消運動
地域自らが地域資源に愛着を持って積極的に利活用 (企画調整部)

全県的な地場産物活用の推進
学校給食における地場産物活用の取組

目指す水準

学校給食における地場産物活用割合	学校給食で県産米を使用している市町村の割合
H25年度 19.1%	H24年度 89.7%
H32年度 40.0%以上	H32年度 100%
農産物直売所の販売額	「がんばろう ふくしま！」応援店の登録数
H23年度 141億円	H24年度 2,083店
H32年度 234億円以上	H32年度 3,000店以上

総合計画「ふくしま新生プラン」の目標値の一部確定について

復興・総合計画課

指標の名称	目標値 (確定後)		目標値 (策定時)		現況値		個別計画
学校給食における地場産物活用割合	H32年度	<u>40.0%以上</u>	H32年度	<u>上昇を目指す</u>	H25年度	19.1%	第6次福島県総合教育計画